

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [横浜市白幡小学校] 担当教諭名 [田村 拓之] (5年3組 33名)
 交流相手国 [チュニジア]
 海外学校名 [Association Tunisienne Handicapes de Nabeul] 担当教諭名 [東 美聡(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	総合	5-3壁画プロジェクト～チュニジアと日本をつなぐ～	27
	国語	壁画に込めた想いをPRビデオにして伝えよう	10

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	日本とチュニジアをつなぐ虹の架け橋
絵に込めたメッセージ	「文化の伝え合い！お互いの認め合い！世界の平和を！」をスローガンに、お互いの良さを伝え合うことで、世界に平和の種をまこうというコンセプトのもと、チュニジアだけでなく、日本だけでなく世界の国々がつながり合って優しさにあふれてほしいという想いをこめた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描く時にチュニジアの文化に興味をもちながら描くことができた。(青年海外協力隊経験者やチュニジア共和国大使館文化参事官の方に来て頂いたことでより効果的になった。) ・他国とつながることの実感を通しての喜びやその達成感の共有。 ・テレビ会議で直接話せたこと。 ・ホームページを開通したことによる直接的なやり取り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側が中心に壁画のデザインやコンセプトを考え、チュニジア側がそれを承諾するという流れになってしまったので、意見交換をしながらお互いの考えを深め合うことができなかった。 ・全校児童への活動の紹介や展開が不十分であり、全校児童への関わりにすることができなかった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ・KDDIにご提供頂いた jimdo というホームページを開通し、学校生活の様子や壁画制作に関連した活動を掲載した。タブレットや視聴覚機器を活用し、児童や保護者がコメントや質問を載せられるようにして、両国ともに閲覧できるようにした。 ・学校便りや学校ホームページにも掲載。 ・朝会での活動報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の先生方もアートマイル活動に賛同して下さり、たくさんの支援やご協力を頂いた。 ・保護者の方には、学校時間外の活動に多々承諾して頂いたり、校外での活動にも多数の方が引率して下さいと、たくさんの協力やお力添えを頂いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマイル活動とはどのような価値のある活動かを理解する。 ・ゲストティーチャーを呼んで話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲満々で、海外の国との交流ができることに喜びを感じていた。 	総合3
情報収集	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや図書資料を活用したチュニジアの文化や世界遺産、生活の様子などを調べる。 ・ゲストティーチャーを呼んで、話しを聞く。(チュニジアの様子や生活・民族衣装の紹介など)。 ・自己紹介カードの交換。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チュニジアについて、国土の様子や民族について等興味深そうに調べていた。いろいろと違いがあり、驚きとともに、関心へと移行しているようであった。 ・特に食事の「クスクス」に興味をもっていた。また、子供の方から民族衣装を着させてほしいと申し出る程であった。 ・言語の違いに驚いていた。相手の国の言葉を使う児童も見られた。互いに学び合おうとする意欲が見られた。 	総合10
テーマ検討	10月～11月	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵の案やコンセプトを紹介するためのPRビデオを作製し、検討し合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に書かせた案から、似たような物を絞ったり、共通な物を整理したりして、自分たちが考えたテーマに沿うような案を完成させた。国語の学習と関連させたことで、資料の効果的な提示の方法や活用の方法を理解しながら作成できた。 	国語10
制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きと、絵の色塗りをグループに分かれて行った。 ・フェスティバルでの活動報国。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間や放課後も使って制作していた。全員が必ず一か所は関わられるように子どもたちが声を掛け合っていた。 ・保護者にも活動の内容や意図が伝わったようで、より協力して頂けるようになった。 	総合8
鑑賞	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ電話で絵とプロジェクトの感想交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半分仕上げた絵が完成させられた届いたことに感動していた。仕上げありにも満足していて、達成感にあふれていた。相手の顔が見れて嬉しそうであった。 	総合6

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解		5・4・③・2・1	壁面に互いの文化を描き合うために改めて調べ、アンケートをとり、こんなにも伝統的な物が日本にはあると共有できたとき。
異文化の理解		5・④・3・2・1	ゲストティーチャーを招きチュニジアの文化を写真や実物で紹介してもらったとき。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	1	⑤・4・3・2・1	テレビ電話での交流や、壁面の案を相手に伝えるためのPRビデオを作成したとき。
情報活用能力 (情報収集・発信)	4	5・④・3・2・1	自国や他国の文化を調べたときや、タブレットなども活用し、ホームページにコメントなどを掲載させたとき。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	3	5・④・3・2・1	実行委員を作ったり、自己紹介カードを書きあい交流し合ったりしたとき。
協働する力 (役割分担・協力)	5	5・④・3・2・1	壁面をクラス全員で一か所以上や役割分担をして作成して仕上げているとき。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	常にこちら側だけではなく、相手国のことを意識しながら課題を追究することができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	2	⑤・4・3・2・1	一人一人が自分のパートを責任をもって絵に表わして、みんなで大きな絵にすることができた。
作品を鑑賞する力		5・4・③・2・1	個々の鑑賞した感想を出し合うに留まってしまい、じっくり深め合うまでには至らなかった。